

# Chugin

## NEWS RELEASE



令和元年5月22日  
株式会社 中国銀行

### 「TSUBASAアライアンス」への滋賀銀行の参加について

当行、千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、東邦銀行（頭取 北村 清士）、北洋銀行（頭取 安田 光春）、北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）および武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、5月22日（水）「TSUBASAアライアンス」に滋賀銀行（頭取 高橋 祥二郎）が新たに参加することに合意しました。

地方銀行の広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」では、平成27年10月の発足以来、フィンテックや事務・システム共同化、相続関連業務、国際業務、グループ会社の連携など多岐にわたる施策を進めてきました。

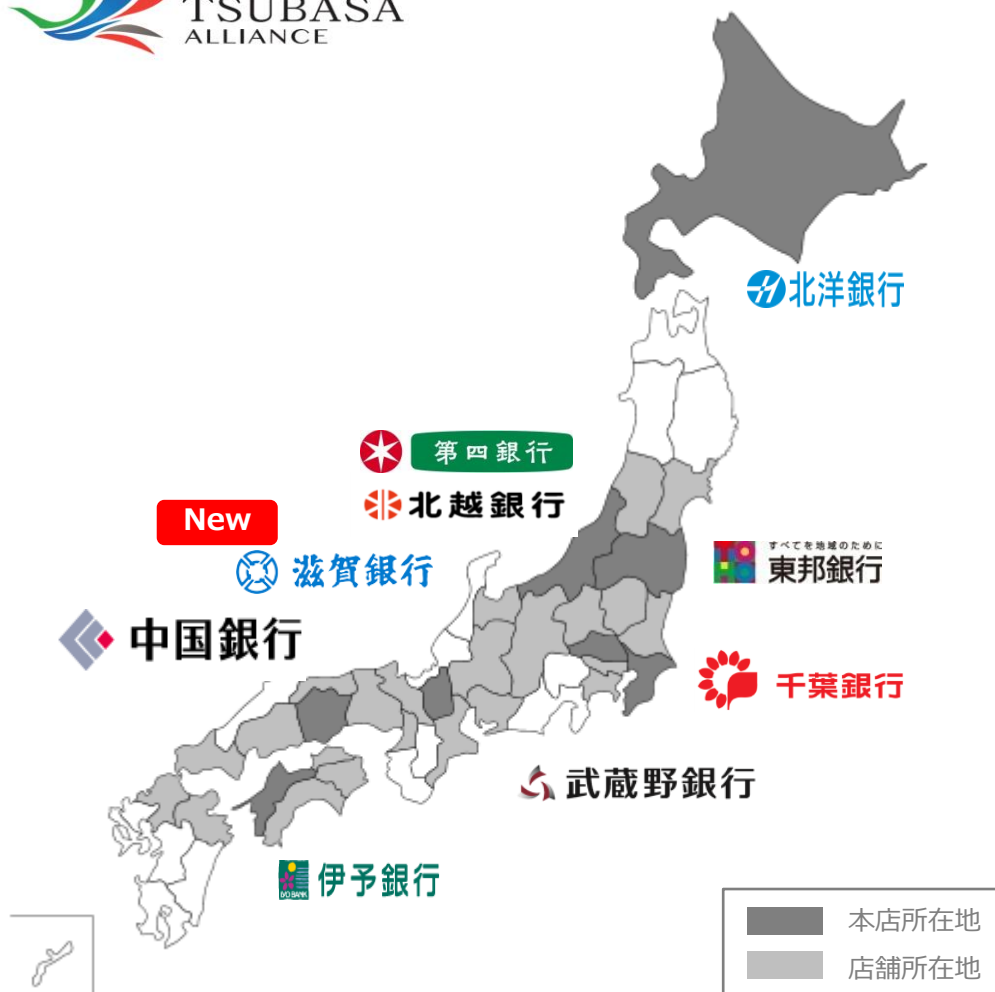
滋賀銀行の参加によりアライアンス参加行は9行となり、関西圏へのネットワークがさらに広がります。今後も、各行が持つノウハウや知見を結集し、幅広い分野において戦略的アライアンスを一層加速させて付加価値の高い金融サービスを提供することで、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

#### <TSUBASAアライアンス概要>

沿革	平成27年10月 当行、千葉銀行、第四銀行の3行で発足 平成28年 3月 伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加 平成28年 7月 共同出資によりT&Iイノベーションセンターを設立 平成30年 4月 北越銀行が参加 「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始 平成31年 3月 武蔵野銀行が参加
連携目的	・地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進 ・参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進

以上

## 地銀最大のアライアンスを進化させ、さらなるシナジーを追求



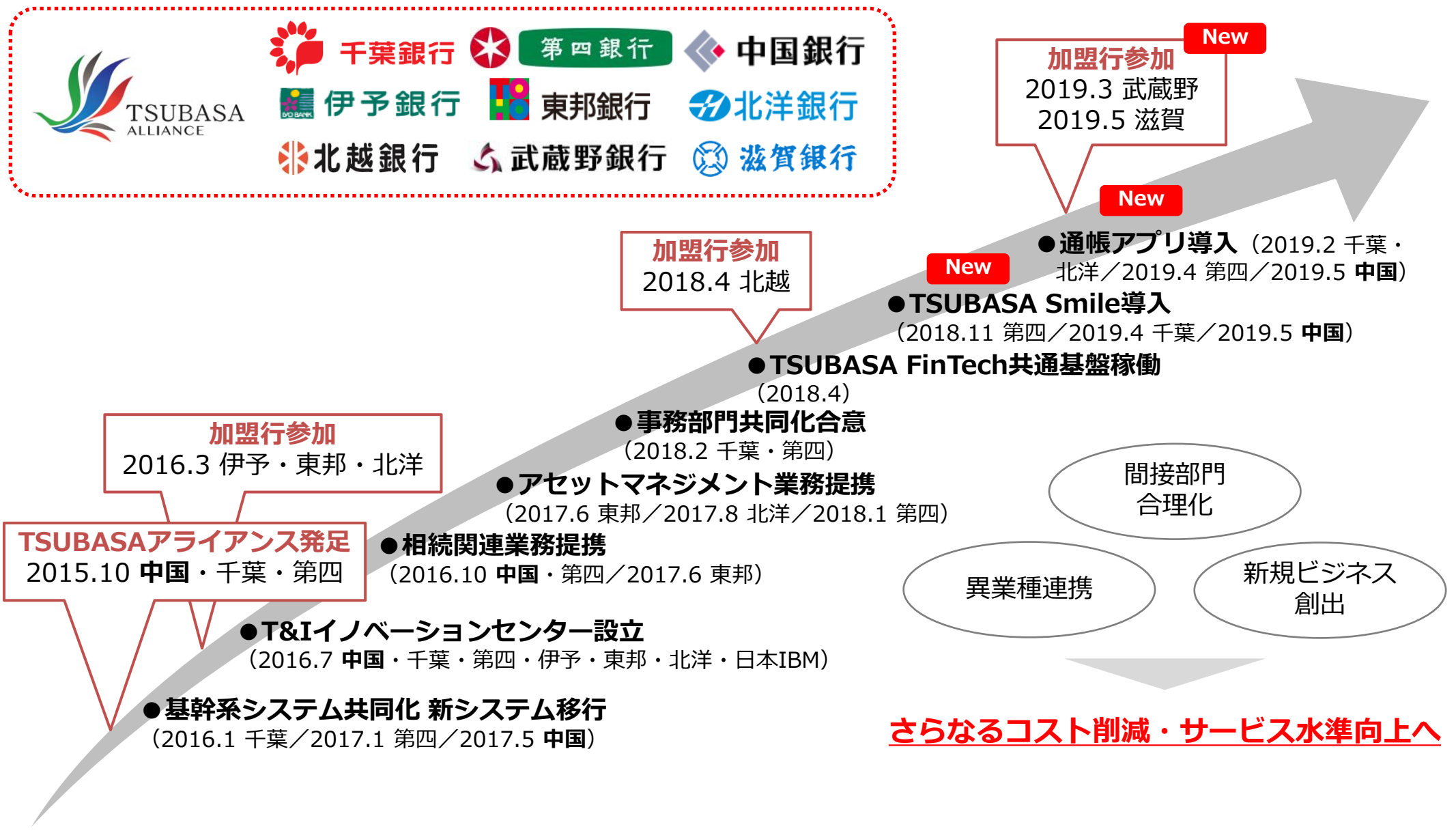
<2019年3月期決算（連結ベース） 他行比較・総資産順>

	総資産	預金	貸出金
三菱UFJFG	311.1兆円	180.1兆円	107.4兆円
三井住友FG	203.6兆円	122.3兆円	77.9兆円
みずほFG	200.7兆円	124.3兆円	78.4兆円
<b>TSUBASA ※4</b>	<b>65.7兆円</b>	<b>54.1兆円</b>	<b>41.8兆円</b>
りそなHD ※1	59.1兆円	51.1兆円	36.1兆円
三井住友トラストHD ※2	57.0兆円	31.9兆円	29.0兆円
TSUBASA ※3	55.0兆円	45.1兆円	34.5兆円
ふくおかFG	20.8兆円	14.0兆円	12.9兆円
コンコルディアFG	18.9兆円	15.9兆円	12.6兆円
めぶきFG	17.3兆円	14.3兆円	11.1兆円

- ※1 2018年4月より、関西みらいFG（関西アーバン銀行、みなと銀行）を連結対象とした
- ※2 2018年10月より、日本トラスティ・サービス信託銀行ほか2社を連結対象外とした
- ※3 2018年4月より北越銀行が加盟、10月より第四北越FGとして算入
- ※4 2019年3月より武蔵野銀行、5月より滋賀銀行が加盟

**合計総資産はメガバンクにつづく**

アライアンス規模を拡大しながら、施策効果を積み上げ



**TSUBASAアライアンス発足**  
2015.10 中国・千葉・第四

**加盟行参加**  
2016.3 伊予・東邦・北洋

**加盟行参加**  
2018.4 北越

**加盟行参加** New  
2019.3 武蔵野  
2019.5 滋賀

● **基幹系システム共同化 新システム移行**  
(2016.1 千葉/2017.1 第四/2017.5 中国)

● **T&Iイノベーションセンター設立**  
(2016.7 中国・千葉・第四・伊予・東邦・北洋・日本IBM)

● **相続関連業務提携**  
(2016.10 中国・第四/2017.6 東邦)

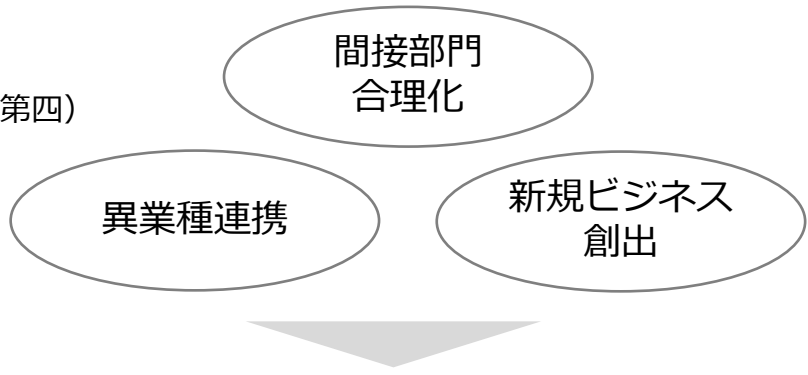
● **アセットマネジメント業務提携**  
(2017.6 東邦/2017.8 北洋/2018.1 第四)

● **事務部門共同化合意**  
(2018.2 千葉・第四)

● **TSUBASA FinTech共通基盤稼働**  
(2018.4)

● **TSUBASA Smile導入**  
(2018.11 第四/2019.4 千葉/2019.5 中国)

● **通帳アプリ導入** (2019.2 千葉・北洋/2019.4 第四/2019.5 中国)



**さらなるコスト削減・サービス水準向上へ**